

2025 年度子どもアンケート 課題と対策

清明小第1第2学童クラブ

問 2→昨年度からコマやめんこなどを昔遊びとして、毎月 1 週間取り入れています。伝承遊びが広がっていて嬉しいです。個人の遊びやドッジボール等の集団遊びも「楽しいあそび」に入り学童の良さが伝わるといういなと考えています。

問 3→子ども達の方が支援員の事をよく見て気にかけてくれて、嬉しい気持ちと申し訳ない気持ちがあります。

問 4→食べた事がないおやつを出してほしいという意見があり、職員もおやつ選びが楽しみになりました。その中で、全員が同じおやつの日もあれば、同じお菓子でも味が違うものを抱き合わせている日もあります。自分の食べたかったおやつが取れなかったと暴力で意思表示をする姿もたまにあります。暴力で物事は解決しないことを伝えています。子ども達の中でも暴力を見るのも聞くのもお互いにつらいということに気付いてもらえるよう支援しています。

問 5→職員の指導の仕方に変化をつけています。今後も、子ども達が安心して話せるように向上していきます。

問 7→今回のアンケートは夏休み中で育成が 1 番不安定な時期でした。暴言、暴力の感情で物や職員にあたっている姿を、同じ空間で過ごしているこども達に怖い思いをさせてしまい申し訳ございませんでした。言葉にして伝えたくても、自分の心を整えられるまでに時間がかかってしまいました。その都度一人ひとりにあった支援の仕方でも協力し見守っています。

問 8→言葉遣いですが、名前はお家の方からの最初の贈り物という視点から、呼び捨てはないよう職員間では共通のルールとしています。他の面で気になる言葉遣いについては、不快な思いをさせないようにプロとしての自覚を持ち、気を付けてまいります。

自由意見

質問内容が難しかった中でも、こども達はよく考えて文字にしてくれて感謝しています。

暴力がない学童や特定の学年が目立つ内容でした。

スキンシップや抱っここのことでは鬼ごっこでの面もありますが、抱っこ等、異性にかかわらず、お互いの距離感には気を付けています。学童クラブ職員研修でも距離感について学んでおり、行政や他クラブでの会議時にもこども達と職員は適切な距離感をとることを繰り返し学んでいます。遊びの中で展開出来るよう工夫していきます。それぞれの個性が尊重され、お互いが認めあえるよう支援していきます。